

## パブリックコメント 全内容

項目	ご意見	市の考え方・対応
<p>◆全体の表現について</p>	<p>100%が目標値となっている。目標に向けての取り組み内容が弱く見える。100%と書いてあるが可能な数値に見えない。求めすぎにみえる。</p>	<p>ご指摘を受け、100%の目標値を再度検討しました。その結果、P31の予防接種、乳児健診につきましては達成可能な目標として100%とします。P40のかかりつけ医については、目標値を80%に訂正します。</p>
	<p>目標数値について、いつまでの目標値か年度をいれるとよい。</p>	<p>目標値の年度は基本的に平成26年度を最終年度としております。ただ、他の計画と整合性を取る必要があるものについて年度を明記してあります。</p>
<p>第1章 策定の経緯と位置づけ</p> <p>◆経緯 P2</p> <p>◆位置づけ P5</p>	<p>「国民の義務」は健康保全は自己責任で行うものであり、素案は総して「してもらえる」との策定に終始している。「国民の責務」が良いのではないか。</p>	<p>健康増進法では、「国民の責務」とうたわれております。「国民の責務」に訂正します。また、本計画は、行政と市民との協働で健康づくりを推進していきます。(P48～49 参照)</p>
<p>「健康の増進」は高齢者に限って考えれば、増進は不可能に近い。病気と上手につき合いながら健康管理に努めている。健康維持(病気を治すことでなく)で病気を克服する策を計画に位置づけしてください。</p>	<p>高齢者の健康については目標として「病気と上手につきあいながら健康管理に努める」とあげており、そのために必要な行動計画を位置づけてあります。(P39・40)</p>	
<p>第4章 健康づくり目標と計画</p> <p>4 健康分野別目標</p> <p>◆(2)運動・身体活動 P22</p>	<p>活動量・運動量はサンマ(時間・空間・仲間)づくりから無理せず、楽しくと表現したらいいと思う。</p>	<p>P22 行動目標①に「無理せず、楽しく」を追加します。</p>

	<p>ワッシュョイ運動やみんラジの推進は、日本の高齢化が 2025 年には 25%といわれているので、介護予防を目的としたようなことを唱えるといい。</p>	<p>高齢者の運動については、健康づくりのみならず、生きがいや介護予防が目的となっています。高齢期の運動の推進として、高齢期の行動計画 P40⑦⑧⑨⑫において位置づけております。</p>
	<p>運動を取り込むのは週 1 回以上・週 23 メッツ以上とし、『継続は力なり』ということを強調してはどうか。</p>	<p>メッツについては、その概念の普及が難しくあえて明記しておりません。エクササイズガイドの指針について念頭におきながら、健康運動教室等をすすめてまいります。運動の継続を支援することは大切と考えております。</p>
<p>◆(4)たばこ P24</p>	<p>「禁煙マナーを守る」は、もう政府としても禁止を提唱しているのだから、特に公共の場では完全禁止をするべき。(市庁舎をはじめ市公共施設の禁煙所及びその周辺は環境が良くないので全廃) 市職員の禁煙を率先して実施すべき</p>	<p>P24 公共の場の全面禁煙化を推進します。 また、市職員の禁煙も禁煙プログラムを実施し推進していきます。</p>
<p>5ライフスタイル別目標 ◆(1)乳幼児期 P29～</p>	<p>“子どもの宮殿(仮称)”の施設を作り、専門スタッフによる正しい指導システムを整備する必要がある。</p>	<p>子育てや子どもの健康づくりを推進するため関係機関が連携して支援できるよう必要時に連絡会議を開催するなど連携を推進していきます。(P30 健康長寿課⑥)</p>
	<p>母乳育児の推進(母乳マッサージなどの母乳指導)推進だけでなく指導することも書くといいのではないかと思います。</p>	<p>母乳を推進する中で、助産師による指導の充実や相談の充実を図っていきます。</p>

<p>◆(2) 少年期 P32～</p>	<p>コミュニケーションの大切さを推進する必要があるので、『コミュニティ構築』の重要性を指導してはどうか。</p> <p>学校保健について 学校・地域・スポ少・クラブが連携協力して、さまざまな問題解決ができるエリアづくりが大切 住民ができることに、特に朝食は完全に摂ることの大切さを教え、実施させる(親・子ども)。</p>	<p>家庭・地域・学校でのコミュニケーションやコミュニティづくりが必要ということについては、P32 少年期の説明文において家庭・学校・地域と連携して心と体の健康づくりに取り組むとを位置づけております。</p> <p>少年期においては、P33 「いろいろな人とのかかわり方・・・」住民ができること①に示してあります。また、成壮年期における住民ができることP37 に「⑤子どもの手本となる生活習慣を実行する⑥地域で子どもを見守り育てる」を追加します。</p> <p>朝食は完全に摂ることの大切さについては、乳幼児期、少年期、青年期、成壮年期について、表現は異なりますが記載がありますので、実施の中で親、子どもに大切さを伝えていきます。</p>
<p>◆(4) 成壮年期 P37～</p>	<p>健康づくりは“メディカルチェックと体力測定”の実施が必要。体力測定(握力・柔軟性・バランス能力・下肢筋力・骨密度)結果、身体組成結果、健康診断結果に基づき個々のトレーニングメニューの指導 仲間、また自分一人で自宅でできるメニューの指導・実施記録。 65歳以上「若返りトレーニング教室」 社会体育事業、 介護予防事業</p>	<p>メディカルチェックや運動プログラムの作成につきましては、現時点で、行政として取り組むことは難しい状況にあります。</p> <p>P37 に示す生涯学習・スポーツ課の行動計画や P38 の健康長寿課の行動計画に示しました内容で、継続して健康増進事業を実施していきたいと考えています。</p> <p>また、総合体育施設のあり方について総合的に検討する委員会のなかで、今後検討されるなかで、メディカルチェックと体力測定についても検討されると思います。P44 生涯学習・スポーツ課①での表現となっています。</p>

	<p>健康教室の自主グループになると行政は音沙汰がなくなりますが、まだ続けているグループには健康チェック等の進めやアンケートなど集まっている人に1年に1回でも話しをしてくれるように計画して欲しい。</p>	<p>健康づくりの自主グループが継続して活動ができるよう連携して健康づくり事業を実施していきたいと考えております。P38 の健康長寿課の行動計画⑦⑫で運動の推進と健康づくりを推進する団体の育成と支援をあげております。</p>
	<p>真面目に取り組んでおられて、行動目標・計画、すごくたくさんのデータを出してくださり、また、私たち市民を心配してくださりありがとうございます。</p> <p>あとはこれをもっと活用していきたいです。それにはやわらかくソフトに考えました。</p> <p>①ポイント集めをして勝山商店街を潤していくと良いかと思えます。</p> <p>ある市へ行くと、夜、明日の福祉行事が有線で流れます。市の行事があり、市では何をしているのか分かります。</p> <p>②生活指導を受けて良くなった、楽しいこと、笑い合えること、あたたかかった事など良かったことだけマップにして新聞みたいにつくり、(大目標)“健康長寿のまち勝山”のマップを作ってください。決してマイナス志向はとりあげないこと。マイナスはこちら側で受け取り、そこをよくみつめてプラスに変えていく。</p> <p>《手紙》 マイナス面に対して必ずそのままにしないでプラスの答えを出して送り返す。</p> <p>《口答》 ころの内側をみる。よく聴いていくと相手が答えを持っている。</p>	<p>健康づくりを広げる仲間づくり、きっかけづくりとして、平成 22 年度は健康スタンプラリーを計画しております。P38 健康長寿課 ⑥</p> <p>いただいたご意見を参考に、広報や PR、事業実施の工夫をして取り組んでいきたいと存じます。</p>
	<p>メタボ 10%減の目標値はむしろかしいのではないか。</p>	<p>国の計画に基づき、10%減としております。</p>

◆(5) 高齢期  
P39～

介護予防は地域の老人会等を軸にしてやっていくと良いと思います。「握力測定」や「開眼片足立ち」等の体力測定も高齢者が行い、運動も高齢者同士でします。このことで、介護予防の意識が高まり健康寿命も延びることでしょう。私自身、微力ではありますが介護予防を学んだものとして、老人会が行う介護予防推進に協力したいと思います。

寝たきり高齢者を作らないため、多くの市民に運動への参加を求める。「身体づくり自主団体」はもっと積極的なPRをするのが第一であるが、行政がこうした自主団体を育てる中で、諸団体の「行事・参加法人などの情報を市広報などにより、市民に知らせる」・「行政も中に入ること」だと思います。運動が盛んになると、寝たきり高齢者を作らない良策になると思います。

今回の計画書は良くできていると思いますが

①市街中心地では、高齢化率 40% にも成ろうとしています。一方、男性高齢者は身体を動かす諸行事への参加が極めて少ない。

このため家から飛び出す行動(運動)を勧める施策必要。

②健康な高齢者も体力は弱り、続けられる軽い運動(ウォーキングなど)が必要。

③市内には、30 余の身体づくり(運動)自主団体があると聞きます。高齢者はその組織がどこにあり、いつ行事があるのかなど情報を得られない人も多いはず。

高齢期は、介護予防を中心とした運動の推進や生きがいづくりが大切と考えております。

その中で、老人会や地区組織との連携、健康情報の発信は大切と考えますので、P40 健康長寿課の行動計画に⑩地区組織と連携した健康づくりの実施⑪健康情報の集約と発信(ホームページ、市広報の充実)を追加します。

	<p>高齢者の認知症予防対策として認知症の高齢者を抱える人たちの話を聞き予防対策に反映することはできないだろうか</p>	
<p>◆(6)障害者の健康づくり P41～</p>	<p>障がい者の健康づくりはバリアフリー・ユニバーサルデザインの整った施設整備をすること。</p>	<p>バリアフリー・ユニバーサルデザインについては、障害者福祉計画に位置づけられており推進していきます。</p>